



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケーユーホールディングス

コード番号 9856 URL <http://www.ku-hd.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 恵博

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大橋 康寛 TEL 042-796-5381

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	37,137	7.4	2,019	△0.5	2,065	0.3	1,314	△0.7
28年3月期第2四半期	34,569	21.0	2,029	70.7	2,059	67.7	1,324	74.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,275百万円 (1.5%) 28年3月期第2四半期 1,256百万円 (45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	42.46	41.02
28年3月期第2四半期	42.86	41.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	49,380	35,162	70.5
28年3月期	46,341	34,420	73.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 34,814百万円 28年3月期 34,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△0.7	3,800	△13.3	3,900	△12.2	2,600	△13.7	84.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	44,126,024株	28年3月期	44,126,024株
29年3月期2Q	13,139,830株	28年3月期	13,190,826株
29年3月期2Q	30,959,721株	28年3月期2Q	30,891,547株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におけるわが国の経済は、政府の景気対策の効果もあり雇用環境には改善が見られましたが、個人消費は力強さに欠け、中国の景気減速や新興国、資源国の経済低迷など世界経済の下振れ懸念もあり、景気の先行きは不透明な状況です。

国内の自動車販売業界におきましては、第2四半期までの軽自動車を含む新車登録台数は、2,299千台（前年同期比1.0%減少）となり、前年を下回る厳しい状況が続いております。一方、中古車登録台数（軽自動車を含む）につきましては、3,173千台（同0.8%増加）となり、また外国メーカー車の新車登録台数は、144千台（同5.7%増加）となりました。

このような状況のもと、当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高は、前年同期に比べ2,568百万円増加（7.4%増加）の37,137百万円となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期に比べ10百万円減少（0.5%減少）の2,019百万円、経常利益は前年同期に比べ6百万円増加（0.3%増加）の2,065百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ9百万円減少（0.7%減少）の1,314百万円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、営業利益合計と連結営業利益の差額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属するものであります。

① 国産車販売事業

売上高は、前年同期に比べ1,168百万円増加（8.3%増加）の15,309百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ301百万円増加（35.5%増加）の1,150百万円となりました。

② 輸入車ディーラー事業

売上高は、前年同期に比べ1,399百万円増加（6.9%増加）の21,827百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ257百万円減少（24.4%減少）の797百万円となりました。

（単位：百万円）

	国産車販売事業		輸入車ディーラー事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
当第2四半期	15,309	1,150	21,827	797
前第2四半期	14,141	848	20,428	1,055
増減率	8.3 %	35.5 %	6.9 %	△24.4 %

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は22,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,054百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が292百万円減少しましたが、商品及び製品が1,331百万円増加したことによるものであります。固定資産は27,307百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,984百万円増加いたしました。これは、主に有形固定資産が1,912百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、49,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,038百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ563百万円増加いたしました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が570百万円増加したことによるものであります。固定負債は6,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,733百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金が1,686百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、14,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,296百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は35,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ742百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,314百万円及び剰余金の配当618百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.5%（前連結会計年度末は73.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,000	9,707
受取手形及び売掛金	1,680	1,663
有価証券	10	—
商品及び製品	7,443	8,774
仕掛品	67	104
原材料及び貯蔵品	195	201
前払費用	128	198
繰延税金資産	327	384
その他	1,168	1,044
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	21,018	22,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,803	7,662
機械装置及び運搬具（純額）	1,481	1,477
工具、器具及び備品（純額）	88	112
土地	14,437	15,670
建設仮勘定	490	291
有形固定資産合計	23,301	25,214
無形固定資産	40	38
投資その他の資産		
投資有価証券	1,366	1,357
繰延税金資産	11	47
その他	610	659
貸倒引当金	△6	△10
投資その他の資産合計	1,981	2,054
固定資産合計	25,323	27,307
資産合計	46,341	49,380

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,995	1,928
1年内返済予定の長期借入金	1,032	1,603
未払金及び未払費用	624	745
未払法人税等	877	810
賞与引当金	364	360
その他	2,469	2,478
流動負債合計	7,364	7,927
固定負債		
長期借入金	2,986	4,672
繰延税金負債	1,030	1,058
資産除去債務	123	154
その他	416	404
固定負債合計	4,556	6,290
負債合計	11,920	14,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,321	6,321
資本剰余金	6,439	6,439
利益剰余金	25,827	26,514
自己株式	△4,720	△4,702
株主資本合計	33,868	34,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	278	239
その他の包括利益累計額合計	278	239
新株予約権	273	348
純資産合計	34,420	35,162
負債純資産合計	46,341	49,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	34,569	37,137
売上原価	27,899	29,917
売上総利益	6,669	7,220
販売費及び一般管理費	4,640	5,201
営業利益	2,029	2,019
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	8	9
受取地代家賃	24	30
保険返戻金	—	11
その他	25	25
営業外収益合計	60	77
営業外費用		
支払利息	14	11
賃貸費用	14	14
その他	2	4
営業外費用合計	31	30
経常利益	2,059	2,065
税金等調整前四半期純利益	2,059	2,065
法人税、住民税及び事業税	770	821
法人税等調整額	△35	△69
法人税等合計	735	751
四半期純利益	1,324	1,314
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,324	1,314

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	1,324	1,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	△39
その他の包括利益合計	△67	△39
四半期包括利益	1,256	1,275
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,256	1,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,059	2,065
減価償却費	486	604
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	14	11
売上債権の増減額（△は増加）	277	45
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,715	△1,563
仕入債務の増減額（△は減少）	318	△75
その他	332	246
小計	1,762	1,325
利息及び配当金の受取額	10	10
利息の支払額	△14	△12
法人税等の還付額	281	1
法人税等の支払額	△730	△927
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,310	398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△358	△1,802
無形固定資産の取得による支出	△2	△1
その他の収入	43	61
その他の支出	△20	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337	△1,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	2,798
長期借入金の返済による支出	△357	△1,062
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△462	△618
その他の支出	△10	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530	1,104
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	442	△303
現金及び現金同等物の期首残高	6,789	10,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,232	9,707

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	国産車 販売事業	輸入車 ディーラー 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	14,141	20,428	34,569
セグメント間の内部売上高又は振替高	91	223	315
計	14,233	20,651	34,884
セグメント利益	848	1,055	1,904

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,904
当社とセグメントとの内部取引消去額	617
セグメント間取引消去	2
全社費用（注）	△494
四半期連結損益計算書の営業利益	2,029

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属する一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	国産車 販売事業	輸入車 ディーラー 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	15,309	21,827	37,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	286	328
計	15,351	22,114	37,465
セグメント利益	1,150	797	1,948

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,948
当社とセグメントとの内部取引消去額	635
セグメント間取引消去	4
全社費用（注）	△569
四半期連結損益計算書の営業利益	2,019

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に属する一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更がセグメント利益に与える影響は軽微であります。